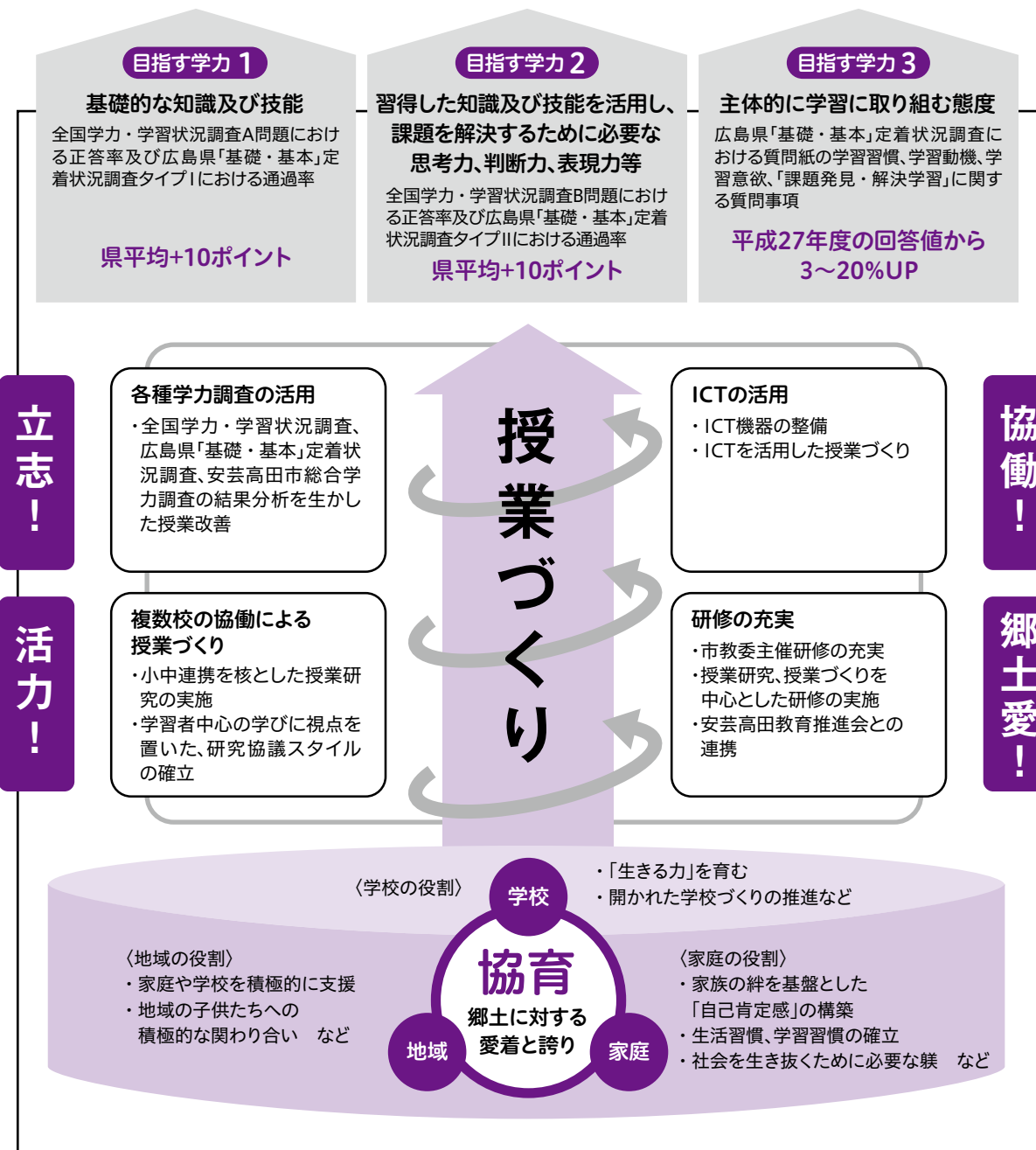




《安芸高田市学力向上戦略》

郷土を想い 夢と志に向けて ともに学び続ける人づくり

目標：児童生徒に広島県内トップレベルの学力を身に付けさせる



安芸高田市では、これらの学力等調査を踏まえ、全ての児童生徒が将来にわたって学び続けていくための土台となる確かな学力をつけるため、「安芸高田市学力向上戦略」を策定し、授業づくりを中心とした取組を進めています。



安芸高田市授業づくりスローガン

安芸高田市の全ての学校において、全ての教職員がこの「安芸高田市授業づくりスローガン」を意識しながら授業づくりを進めています。

- あ 愛情のある授業をつくります
- き 基礎・基本を習得し、活用する授業をつくります
- た 対話し、学び合える集団を育てる授業をつくります
- か 考えが深まる授業をつくります
- た 互いに見合い、学び合って授業をつくります

平成28年度実施学力等調査の結果

安芸高田市教育委員会

安芸高田市では、全国学力・学習状況調査、広島県「基礎・基本」定着状況調査を実施しました。その結果から、安芸高田市の児童生徒は、基礎的・基本的な学習内容を概ね身に付けていますが、それを活用する問題（特に説明をする問題）において、小中学校ともに課題があります。（○成果 ●課題）

6月7日
実施

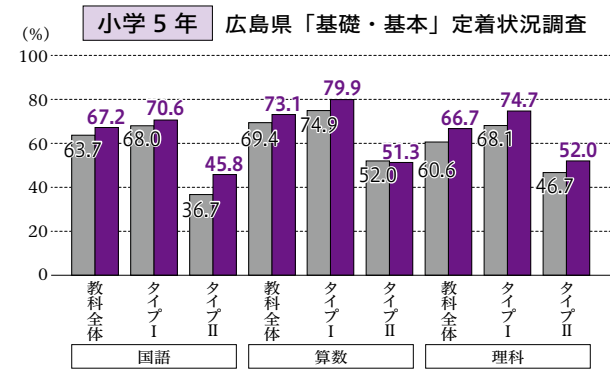
広島県「基礎・基本」定着状況調査

小学5年
国語・算数・理科

○国語、算数、理科のタイプIの基礎的・基本的な内容は、概ね定着している。

●国語タイプIIでは、複数の資料から必要な情報を取り出しそれらに関係付けて論理的に説明すること。

●算数タイプIIでは、目的に応じて計算結果を見積もること。



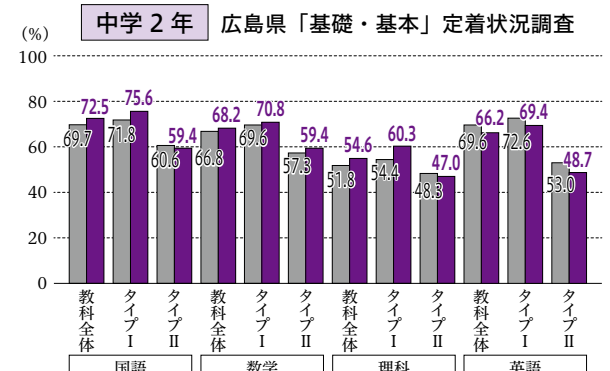
中学2年
国語・数学・理科・英語

○国語、数学については基礎的・基本的な内容は、概ね定着している。

●数学タイプIIでは、比例のグラフの特徴について、数学的な表現を用いて記述すること。

●理科は、力の関係を図に表すこと。

●英語は、会話を聞いて話の要点や概要を把握すること。



広島県「基礎・基本」定着状況調査では、調査の種類が次のように分かれています。

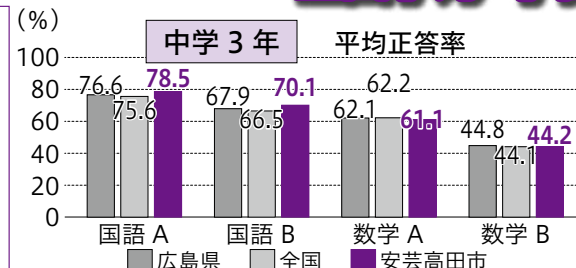
- ・タイプI…教科で身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼすなどの基礎的・基本的な内容
- ・タイプII…教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などに係る内容

全国学力・学習状況調査

4月19日
実施

全国学力・学習状況調査では、調査の種類が次のように分かれています。

- ・国語A、算数A：主として知識に関する問題
- ・国語B、算数B：主として活用に関する問題

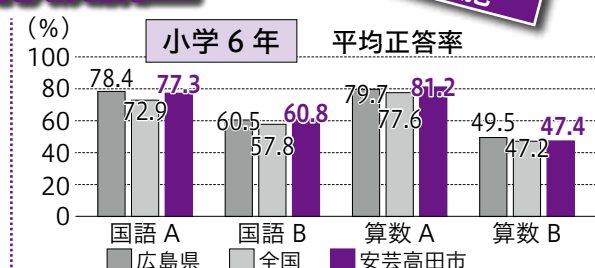


小学6年
国語・算数

○国語A、国語B、算数Aの内容は、概ね定着している。

●算数Bでは、式の中の数値の意味を理解し、それを記述すること。

●割り算の式の意味の説明を記述すること。



※「概ね定着している」とは…平均正答率、平均通過率が60%を超えていること。
※通過率とは…正答（正しい答え）または準正答（完全な誤りではなく、正答として考えられる答え）であった児童生徒の割合